

平成28年度本巢市教育委員会  
事務事業の点検・評価結果報告書



平成29年8月  
本巢市教育委員会

# 点検評価結果の概要

## I. はじめに

### 1. 教育委員会事務事業の点検・評価制度の実施について

平成19年6月「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たしていくため、教育委員会の活動状況・会議の実施状況や所掌する事務の管理・執行状況について点検・評価を行う際には、学識経験者の知見の活用を図ることも規定されています。

本巢市教育委員会では、平成27年度から平成31年度までの5年間を対象期間として平成27年2月に「本巢市教育基本計画 後期計画」を策定いたしました。

平成28年度の教育委員会事務事業の点検・評価は、この「本巢市教育基本計画 後期計画」に定める項目ごとに点検・評価することとし、今後の効果的な教育行政の推進及び市民への説明責任を果たすことを目的として、ここにその結果を報告いたします。

## Ⅱ. 点検・評価の実施方法について

### 1. 評価の対象

教育委員会が平成28年度に実施した、会議・調査活動及び事務事業について点検・評価を実施する。

- ・ 教育委員会の活動状況、教育委員会会議の実施状況等
- ・ 本巢市教育基本計画の重点ごとの主要施策の執行状況、事務事業の執行状況

### 2. 評価の進め方

#### (1) 一次評価

教育委員会事務局において評価対象事業等の自己評価を実施する。

#### (2) 二次評価

一次評価を基に、評価委員（教育に関し学識経験を有する者等）により二次評価を実施する。

#### (3) 最終評価

教育委員会は、一次評価・二次評価の結果を踏まえ、最終評価を実施し報告書にまとめ、議会に提出するとともに公表を行う。

### 3. 点検・評価の基準

点検・評価は、対象事業の必要性、効率性、有効性、達成度の視点から評価を行う。また、下記の評定基準により総合的に評価を行う。

<総合評価>

次の4区分により達成度の評価を行いました。

| 評 定 | 内 容              |
|-----|------------------|
| A   | 順調に達成しているもの      |
| B   | おおむね順調に達成しているもの  |
| C   | 達成見込みであるが課題があるもの |
| D   | 順調でないもの          |

### Ⅲ. 評価結果の概要

#### 1. 教育委員会の活動状況

平成28年度の教育委員会の活動状況の点検評価は、下記のようにになりました。

##### (1) 教育委員会の会議の活動状況

- ①教育委員会の開催
- ②総合教育会議の開催
- ③点検評価委員会の開催

評価

A

A

A

##### (2) 調査活動の状況

- ①学校訪問
- ②先進地視察
- ③市町村教育委員会連合会研究総会

A

A

A

#### 2. 事務事業の執行状況

平成28年度の重点施策別の点検評価は、下記のようにになりました。

##### 目標1 知徳体の調和がとれ、自己実現をめざす自立した人づくり

評価

###### 重点(1) 子どもの学力を伸ばす授業づくり

B

|  |
|--|
| 施策① 学校 ICT の活用など確かな学力の向上<br>(11 項目中の評価、A : 11 項目、B : 0 項目) |
| 施策② 心と体のすこやかな発達<br>(7 項目中の評価、A : 7 項目、B : 0 項目)            |
| 施策③ 子どもの自主的、実践的な活動の支援<br>(2 項目中の評価、A : 2 項目、B : 0 項目)      |
| 施策④ 個のニーズに応じた特別支援教育の推進<br>(2 項目中の評価、A : 2 項目、B : 0 項目)     |
| 施策⑤ 教職員の研修の充実<br>(10 項目中の評価、A : 9 項目、B : 1 項目)             |

##### 目標2 園・学校、家庭及び地域との連携による一貫した教育環境づくり

評価

###### 重点(1) 共に学び合う環境づくり

A

|  |
|--|
| 施策① 園・学校・家庭及び地域の連携強化、ふるさと学習の推進<br>(3 項目中の評価、A : 3 項目、B : 0 項目) |
|--|

###### 重点(2) 地域から学ぶ学校づくり

A

|   |
|---|
| 施策① キャリア教育の充実 (2 項目中の評価、A : 2 項目、B : 0 項目)        |
| 施策② 地域ぐるみによる子ども支援<br>(4 項目中の評価、A : 4 項目、B : 0 項目) |

重点(3) 地域による教育支援体制づくり

A

施策① 子どもの安全・安心の確保

(8項目中の評価、A：8項目、B：0項目)

目標3 豊かな心と文化をはぐくむまちづくり

評価

重点(1) 未来を築く人づくり

A

施策① 青少年の健全育成と国際感覚をはぐくむ教育の推進

(19項目中の評価、A：19項目、B：0項目)

重点(2) 人を育てるコミュニティづくり

B

施策① 生きがいと活力のあるまちづくりの推進と充実

(17項目中の評価、A：17項目、B：0項目)

施策② スポーツコミュニティづくりの推進と充実

(30項目中の評価、A：29項目、B：1項目)

重点(3) 伝統文化を受け継ぐふるさとづくり

B

施策① 郷土の歴史、文化の伝統及び芸術・文化の推進と充実

(11項目中の評価、A：10項目、B：1項目)

目標4 安心して学ぶことができる教育を支えるための環境づくり

評価

重点(1) 子どもの居場所づくり

A

施策① 安心して学べる学校の創造

(8項目中の評価、A：8項目、B：0項目)

施策② 個に応じた学習支援、教育相談の充実

(5項目中の評価、A：5項目、B：0項目)

施策③ 特別支援教育体制の充実

(4項目中の評価、A：4項目、B：0項目)

重点(2) 地域による教育支援体制づくり

A

施策① 学校施設・設備、備品の整備・充実

(11項目中の評価、A：11項目、B：0項目)

施策② 社会の変化に対応した教育環境の整備

(6項目中の評価、A：6項目、B：0項目)

## IV. 点検評価結果の内容について

### (1) 教育委員会の活動状況

評価

#### ①教育委員会会議の開催

A

教育委員会会議の開催状況については、会議を14回、議案47件の審議を厳正に行いました。また、委員会終了後には、委員からの情報提供や、事務局からの事務事業の進捗状況その他の報告に関し、委員と事務局との意見交換を活発に行いました。

#### ②総合教育会議の開催

A

地方教育行政法の改正により、市長と教育委員会が十分な意思疎通を図り教育課題を共有するため、平成27年度から設置が義務化となり、開催しています。

「第2次総合計画策定に伴う教育に関する大綱の見直し方針」や「いじめ防止対策に関する条例」等について、市長等と意見交換を行いました。

#### ③点検評価委員会

A

平成27年度に実施した教育委員会事業についての点検・評価結果を協議し、報告書をまとめました。

### (2) 調査活動の状況

評価

#### ① 学校訪問

A

調査活動の状況等については、本巣小学校、真正幼稚園、神海幼稚園、本巣中学校、根尾小学校、根尾中学校、本巣幼稚園、席田小学校、糸貫東幼稚園、真桑小学校を視察し、学校教育（園）の現状を把握した他、学校現場から直接意見を聴くことで、教育現場の現状をそれぞれの角度から把握することができました。

評価

#### ② 先進地視察

A

教育先進地である岐阜市を訪れ、「これからの図書館のあり方」、「コミュニティ・スクール」、「未成年者に関する相談体制」について学ぶことができました。

#### ③ 市町村教育委員会連合会研究総会

A

県内小中学校における、先進的な取り組みに学ぶことができました。

### (3) 各重点における事務事業の執行状況

#### 目標1 知・徳・体の調和がとれ、自己実現をめざす自立した人づくり

##### 重点(1) 子どもの学力を伸ばす授業づくり

##### 施策① 学校 ICT の活用など確かな学力の向上

- ・自分の教科指導を観る一つの〔窓〕を活用
- ・個に応じた学習指導の実施
- ・園関係者評価委員会 学校関係者評価委員会
- ・小学校情報機器整備事業
- ・中学校情報機器整備事業
- ・学校間ネットワーク整備事業
- ・小学校指導用教材整備事業
- ・中学校指導用教材整備事業
- ・各学校ホームページの活用
- ・ライブ中継システムの効果的な活用
- ・外国語指導助手の全園・学校への配置

評価

|   |
|---|
| A |
| A |
| A |
| A |
| A |
| A |
| A |
| A |
| A |
| A |
| A |

##### 施策② 心と体のすこやかな発達

- ・道徳教育の推進
- ・道徳研修の充実・教師の授業力向上
- ・図書室の蔵書等の充実
- ・学校図書電算化システムの整備
- ・〔地産地消〕給食に岐阜県産、本巣市産の食材を取り入れる
- ・体力テストの実施
- ・部活動支援事業の実施

評価

|   |
|---|
| A |
| A |
| A |
| A |
| A |
| A |
| A |

##### 施策③ 子どもの自主的、実践的な活動の支援

- ・児童会・生徒会活動サミットの実施 環境保全活動事業の実施
- ・E S Dの視点に立った教育の推進

評価

|   |
|---|
| A |
| A |

##### 施策④ 個のニーズに応じた特別支援教育の推進

- ・特別支援教育、園・学校における個に応じた指導の充実
- ・定期的な教育相談、保護者のニーズに応じた相談

評価

|   |
|---|
| A |
| A |

##### 施策⑤ 教職員の研修の充実

- ・1学期：事務管理訪問(園小中学校1回実施)
- ・2学期：教育指導訪問(小中学校1回実施)
- ・校長会、教頭会で、児童生徒の学力向上、教職員の資質の向上に向けた改善事項を周知

評価

|   |
|---|
| A |
| A |
| A |

- ・市外他校の研究発表等への参加
- ・教育研究会活動事業
- ・教育実践論文による実践の整理の促進
- ・研究指定実践校の指定
- ・指定研修、希望研修の開催
- ・ALT(8名)の全園・小・中学校への配置 本巣市英語教育推進委員会の立ち上げ
- ・教職員特任指導講師の配置、リーダー教職員養成研修の実施

|   |
|---|
| B |
| A |
| A |
| A |
| A |
| A |
| A |

## 目標2 園・学校・家庭及び地域との連携による一貫した教育環境づくり

### 重点(1) 共に学び合う環境づくり

#### 施策① 連携強化、ふるさと学習の推進

評価

- ・学校関係者評価結果の学校(園)経営への反映
- ・自然や文化等に精通する人材の発掘・把握
- ・ふるさと学習事業 特色ある教育活動推進事業

|   |
|---|
| A |
| A |
| A |

### 重点(2) 地域から学ぶ学校づくり

#### 施策① キャリア教育の充実

評価

- ・生きる力を育てる教育活動事業
- ・生きる力を育てる教育活動事業、進路指導対策事業

|   |
|---|
| A |
| A |

#### 施策② 地域ぐるみによる子ども支援

評価

- ・1家庭1ボランティアの啓発活動
- ・MSJ活動の推進
- ・地域行事への積極的な参画促進
- ・各種表彰、コンクールへの積極的な参加の促進

|   |
|---|
| A |
| A |
| A |
| A |

### 重点(3) 地域による教育支援体制づくり

#### 施策① 子どもの安全・安心の確保

評価

- ・通学路の点検
- ・子ども110番の家支援
- ・すぐメールの活用
- ・児童生徒に対する安全・安心な食材の選定、使用
- ・食物アレルギーへの取り組み
- ・学校給食センター運営委員会の開催
- ・各園・小・中学校における命を守る訓練の実施(地震・火災・不審者等)
- ・ネットトラブル チェックシートの活用及び「ネット人権宣言」の提唱

|   |
|---|
| A |
| A |
| A |
| A |
| A |
| A |
| A |
| A |

### 目標3 豊かな心と文化をはぐくむまちづくり

#### 重点(1) 未来を築く人づくり

##### 施策① 青少年の健全育成と国際感覚をはぐくむ教育の推進

- ・ジュニアリーダー活動支援
- ・青年団活動支援（地域づくり）
- ・子ども会支援活動
- ・連合PTA支援
- ・ふれあいサマーフェスタ
- ・成人式開催
- ・乳幼児期家庭教育学級（0～3歳児対象）
- ・家庭教育学級（委託開催）
- ・市青少年育成市民会議総会
- ・少年の主張大会
- ・青少年育成推進員会
- ・根尾川水系愛掃活動
- ・ほほえみジュニア文化祭
- ・ふれあい会議
- ・家庭の日作品募集事業
- ・朝食レシピコンテスト事業
- ・あったかい言葉かけ運動事業
- ・青少年国際交流事業
- ・青少年海外派遣事業

評価

|   |
|---|
| A |
| A |
| A |
| A |
| A |
| A |
| A |
| A |
| A |
| A |
| A |
| A |
| A |
| A |
| A |
| A |
| A |
| A |
| A |

#### 重点(2) 人を育てるコミュニティづくり

##### 施策① 生きがいと活力のあるまちづくりの推進と充実

- ・公民館講座・教室ガイド
- ・公民館・分館活動の支援等
- ・数学校研究会事業
- ・子どもの読書活動推進関連事業
- ・公民館設備管理事業
- ・生涯学習推進事業
- ・学習機会の提供、図書購入等
- ・青少年平和教育研修事業
- ・地域コミュニティ支援事業
- ・チャレンジクラブ支援事業（地域のおじさん・おばさん事業）
- ・もとすボランティア44
- ・赤彩古墳の館開館事業、民俗資料館活用事業、古文書ボランティア、船来山古墳群ボランティア、美術展ボランティア

評価

|   |
|---|
| A |
| A |
| A |
| A |
| A |
| A |
| A |
| A |
| A |
| A |
| A |
| A |
| A |



### 重点(3) 伝統文化を受け継ぐふるさとづくり

#### 施策① 郷土の歴史、文化の伝統及び芸術・文化の推進と充実

- ・文化協会等支援
- ・文化ホール自主事業の充実
- ・文化財保存活動事業（伝統芸能の育成・支援）
- ・主要設備改修計画の策定
- ・文化財保護審議会を開催と文化財保護事業の実施
- ・市内発掘調査の実施
- ・船来山古墳群詳細遺跡分布調査
- ・文化財保存団体支援・記録保存
- ・文化財環境整備
- ・歴史探訪セミナー・赤彩古墳の開館・企画展・親子歴史体験教室【ふるさと学習ロマンプロジェクト事業】
- ・美術展等の開催

評価

|   |
|---|
| A |
| B |
| A |
| A |
| A |
| A |
| A |
| A |
| A |
| A |
| A |

### 目標4 安心して学ぶことができる教育を支えるための環境づくり

#### 重点(1) 子どもの居場所づくり

#### 施策① 安心して学べる学校の創造

- ・教育相談員研修の実施
- ・生徒指導対策事業の実施
- ・学級満足度調査の実施
- ・生徒指導等事例検討会の実施
- ・いじめ防止基本方針の運用
- ・いじめ不登校対策会議の実施
- ・遊具及び体育施設点検の実施
- ・心肺蘇生法実習事業

評価

|   |
|---|
| A |
| A |
| A |
| A |
| A |
| A |
| A |
| A |

#### 施策② 個に応じた学習支援、教育相談の充実

- ・児童の実態に合わせた支援員（学習・生活）の配置
- ・ライブ中継システムを活用した合同授業の実施
- ・相談員の配置
- ・小学校非常勤教育講師配置事業の実施
- ・中学校非常勤教育講師配置事業の実施

評価

|   |
|---|
| A |
| A |
| A |
| A |
| A |

#### 施策③ 特別支援教育体制の充実

- ・支援員研修会の実施
- ・特別支援教育連絡協議会の開催
- ・支援チームの計画的巡回訪問の実施
- ・教育支援委員会の開催、中学校区毎の教育支援委員会の開催

評価

|   |
|---|
| A |
| A |
| A |
| A |

|                          |
|--------------------------|
| <b>重点(2) 地域による教育支援体制</b> |
|--------------------------|

**施策① 学校施設・設備、備品の整備・充実**

- ・ 小学校小規模改修事業
- ・ 小学校大規模改修事業
- ・ 小学校芝生化改修事業
- ・ 小学校太陽光発電設備設置事業
- ・ 中学校小規模改修事業
- ・ 中学校大規模改修事業
- ・ 小学校管理備品購入事業
- ・ 小学校教材整備事業
- ・ 中学校管理備品購入事業
- ・ 中学校教材整備事業
- ・ 給食センター合併浄化槽制御盤改修事業

評価

|   |
|---|
| A |
| A |
| A |
| A |
| A |
| A |
| A |
| A |
| A |
| A |
| A |

**施策②社会の変化に対応した教育環境の整備**

- ・ 根尾、外山地域活性化検討会議の開催
- ・ 放課後児童健全育成事業の実施
- ・ 学力向上サポート事業説明会(学力向上サポートの体制づくり)
- ・ 学力向上サポート事業
- ・ 放課後チャレンジクラブの実施
- ・ 多子世帯学校給食費補助事業

評価

|   |
|---|
| A |
| A |
| A |
| A |
| A |
| A |

## V. 評価委員会からのご意見

教育委員会の活動状況及び事務事業の執行状況について、点検評価委員会において委員からのご意見を集約したので報告します。

### 1. 教育委員会の活動状況について

#### (2) 調査活動の状況

##### ① 総合教育会議の開催

- ・新しい教育委員会制度のもとでは、市長さんと教育委員会の間で重要な教育課題について共通理解することは大変重要であり、両者が密に連携をとる機会を一層充実したい。

##### ② 学校訪問

- ・児童と教職員の様子をもとに、具体的な指導をいただいている。

##### ③ 市町村教育委員会連合会研究総会

- ・本巢市型コミュニティ・スクールが目指す中学校区単位のコミュニティ・スクールの先進事例があれば視察に加えたい。

### 2. 事務事業の執行状況について

#### 目標 1 知徳体の調和がとれ、自己実現をめざす自立した人づくり

##### 重点(1) 子どもの学力を伸ばす授業づくり

##### 施策① 確かな学力、学校ICTの活用

- ・「自分の教科指導を観る一つの〔窓〕」を日常的に活用し、授業力アップへの指導に活用できている。
- ・個に応じた学習指導は、分析による授業改善に役立てている。
- ・学校の実態に応じて学習支援員が配置され、教員と連携してきめ細やかな指導を行うことができた。
- ・一定期間「勉強期間」を設け、集中して勉強に取り組ませる試みは大変有効に思う。子どもたちに勉強に集中するリズムが生まれると思う。
- ・園関係者評価委員会学校関係者評価委員会における資料の準備等に時間がかかります。形式的にならないようにしたい。
- ・小学校情報機器整備事業では、普通学級にもタブレット配置ができるとよい。
- ・中学校情報機器整備事業では、タブレットの有効活用により様々な教育効果が報告されている。できれば児童生徒に一台ずつ持たせることも将来的に考えていきたい。
- ・各学級に設置された電子黒板は、授業でのワンポイントでも気軽に使うことができ、ICTの活用に対する職員の意識向上につながっている。
- ・小学校指導用教材整備事業では、各学級に電子黒板が配置されるのが楽しみです。
- ・デジタル教科書は、大変活用されています。
- ・全学級への電子黒板の設置とセットで、高い効果をあげている。
- ・指導用教材が整備され、学習意欲が高まり理解しやすくなると思います。電子黒板の導入整備により教育環境が一層よくなったものと評価します。
- ・学校ホームページでは、個人情報の取り扱いを慎重にしています。
- ・学校のホームページは、ただ作っただけという印象がぬぐえません。保護者の方はホームページ

があることすら知らない人も多いと思いますし、学校も敢えて告知されていないと思います。学校内部で活用するだけならば別の方法でよいのでは、と思います。

- ・ライブ中継は、根尾地区の子どもたちの教育に有効なばかりでなく、本巣市全体の子どもたちがライブで市内様々な子どもたちと交流を進めていく上でも有効。さらなる有効活用の方向を見いだして行っていただきたい。
- ・小学校でも英語が教科化される。外国語指導助手の配置充実に合わせて、小学校の先生方の英語研修にも本格的な取り組みが求められている。
- ・外国語指導助手の全園・学校への配置は、時間確保と指導計画等準備が課題です。
- ・市単独採用のALTの配置により、人数はかなり充実してきた。しかし、学習指導に対する意欲の差が激しく、生徒と関わろうとしないALTもいる。質を高める研修を工夫して欲しい。

## 施策② 心と体のすこやかな発達

- ・「特別の教科道徳」実施に向け、各学校でも道徳教育推進の全体計画を見直す必要がある。学校・地域・家庭の連携はさらに深めていくことが求められている。
- ・心を育てる教育は、特別の教科としての指導計画と授業改善が必要です。
- ・図書室の蔵書等の充実は、子どもが自然に足が向くような図書館経営のアイデアをもちたい。例えば、思わず本を読みたくなるような図書館の環境構成、運営方法等アイデアなど。
- ・図書室の蔵書の質・量とも、大変充実している。
- ・図書館の電算化が利用する児童生徒の図書館活用に役立っていて大変評価できる。さらなる電算化のもたらす「よさ」を追求したい。
- ・地産地消事業の実施では、児童生徒の考えたメニューが、食育への関心を高めるためにもよいと考えます。
- ・地元食材を活用したり、その説明をしたりすることで、地元食材に関心を持つようになっている。
- ・体力テストの結果を活かして、筋力・持久力との向上を図る。何をどのようにどれくらい実践するか、目標を立てて継続的に取り組む。
- ・部活動支援事業では部活動に関する保護者の負担は大きいので、旅費等の補助は大変ありがたい。

## 施策③ 子どもの自主的、実践的な活動の支援

- ・児童会・生徒会活動サミットでは、他校の実践を知ることで、自校での取組に対する刺激になっています。
- ・児童会・生徒会活動サミットのねらいを明確にして、活動の精選をすることが必要である。
- ・生徒会サミットをキャンピングパークで開催し、自然環境の中で生き方学びや市長と語る会など良い企画で子ども達の心に残る活動になったと思います。
- ・環境保全活動事業では、E S Dがこれからの教育の要。いろいろな学習機会を設けて児童生徒に環境に配慮した生活習慣、実践的な態度を育ててほしい。

## 施策④ 個のニーズに応じた特別支援教育の推進

- ・学校・学級への適応、不登校の未然防止のための教育相談では、支援チームが学校と緊密に連携を取りながら、児童生徒と保護者の指導・支援に取り組んでいて、不登校の改善につながった事例がある。
- ・日々の授業において教育相談的指導に取り組むことと情報の共有化を図る。

## 施策⑤ 教職員の研修の充実

- ・事務管理訪問では、現場での具体的な指導により、改善ができます。
- ・一度はきちんとした指導案を書いて授業を見てもらうことは大切である。さらに、日頃の授業を（突然でもいいので）見に来てもらってアドバイスをして頂ければ、研修会に参加するよりも授業改善のために有用である。
- ・ゆとりをもって、日常的に職員と会話することで、改善を図ることができるようにしたい。
- ・市外他校の研究発表等への参加では、参加費や資料代等の補助が大変ありがたい。
- ・教育研究会活動事業は、小中合同の教科研究会のもち方、「義務教育9年間」の観点から大変評価できる。今後大いに推進してほしい。
- ・教育研究会活動事業では、教科によっては部員が少ないことや、学校によっては1人が多くの部会を掛け持ちしていることがある。
- ・教育実践論文による実践の整理の促進は、各教員が個人研究（研修）テーマをもち常に実践的な研究を積み重ね、自らのキャリアアップを図っていくことは今後の教員のあるべき姿と思う。ぜひこうした取り組みを続けてほしい。
- ・指定研修、希望研修全般に言えることであるが、出張による学校および教員の負担増と、資質向上のために必要な研修との兼ね合いを考え、内容と回数、時間帯を工夫したい。
- ・①「ALTの意図的な配置とALTの定期的な訪問」、②「市共通の体系的なカリキュラムで担任主導の外国語活動が行えること」、③「2020年に向けた国の英語教育改革（小学校高学年の教科化と授業時数増加、中学年からの外国語活動開始、中学校における英語での授業等）」の何れも有効な施策、さらに充実させていただきたい。特に③の担任への英語研修については、個々の教員が意欲的主体的に自らの英語力を高めようとする研修方法を工夫したい。
- ・ALT（8名）の全園・全小・中学校への配置は、指導計画や時間割への位置づけ等について準備を確実に行っていきたい。
- ・最低一校に1名のALTの必要性を思う。2020年に不安。
- ・特任指導講師が学校を訪問して指導して頂けることは、大変ありがたい。各種研修に関しても、できるだけ出張を減らし、校務に専念できるようにお願いしたい。

## 目標2 園・学校、家庭及び地域との連携による一貫した教育環境づくり

### 重点(1) 共に学び合う環境づくり

#### 施策① 園・学校・家庭及び地域の連携強化、ふるさと学習の推進

- ・幼小中の中学校区としての取組は、本単の特色であり、大切にしていきたい。
- ・学校行き帰りに挨拶する児童生徒が多くなってきている。取り組みの成果とを感じる。
- ・本単市の学校関係者評価委員会の取り組みは大変大きな成果を上げている。義務教育の出口でもある中学校3年生のよい姿がこの取り組みの成果を物語っている。今後、コミュニティースクール化していく方向と聞いたが、ぜひ他の模範となるようなかたちで、中学校区を単位としたコミュニティースクールのモデルをつくってほしい。
- ・自然や文化等に精通する人材の発掘・把握では、専門家の話が子どもたちに「探究心」「興味関心」等を喚起します。できるだけ多くの機会を設けてやりたい。
- ・進路講演会の講師や職場体験学習の受入先などについて、教育委員会からの情報提供やコーディネートがあるとありがたい。
- ・職場体験、職業訪問は地域の自然や文化を知り人材の発掘にも役立つと考えられます。

- ・「ふるさと学習」事業は、どの校区にも、魅力溢れる「ふるさとのよさ」が内在されている。先生方自身も地域に関心を深めていただき、ふるさとのよさを発掘・活用していただきたい。
- ・各校において、教育課程にバランスよく配置し学習することが重要である。
- ・「ふるさと学習」事業により地域の人から体験や文化について学ぶことは地域を大切にすることを育てる大変良いことだと思います。

## 重点(2) 地域から学ぶ学校づくり

### 施策① キャリア教育の充実

- ・生きる力を育てる教育活動事業では、本巢市には総合的な学習の時間の素材がいっぱいある。こうした素材を発掘し、教材化し、子どもたちに生きる力を育んでほしい。
- ・体験や現場での学習は、児童にとって説得力のある学習となります。
- ・夢や希望、目標を持った人は、目的を持って生きることができる。大変大切なことなので進めて頂きたい。
- ・生きる力を育てる教育活動事業では、キャリア教育や進路事務に関わる様々な項目に柔軟に支出できるので、大変ありがたい。

### 施策② 地域ぐるみによる子ども支援

- ・1家庭1ボランティアの啓発活動では、活動に対する思いに対する保護者の温度差に気を付けたい。
- ・チャレンジカードの活用 例えば他に紹介、新聞、広報等で紹介するとか。
- ・MS J活動の推進では、生徒会が積極的にボランティアを推進している学校や、ボランティア部がある学校では、MS J活動との兼ね合いが難しい。(どれがMS J活動で、どれが生徒会活動か)
- ・地域行事への積極的な参画促進では、夏休みのラジオ体操が一定の効果を上げている。
- ・現場での地域の方からの見守りや声掛けが大切です。
- ・地域での活動を行う時に、少なくとも市内在住の市職員は、地域の一員として積極的に参加するように呼びかけたいです。
- ・地域のクリーン活動、運動会、地域活動などに積極的に参加することは、地域の活性化のためにも有効です。
- ・夏休みのラジオ体操に中学生がリードしていることは大変良いが、小学生の見本になるような体操にしたい。
- ・各種表彰、コンクールへの積極的な参加の促進では、一人一人の児童の才能開花へとつながるとよい。

## 重点(3) 地域による教育支援体制づくり

### 施策① 子どもの安全・安心の確保

- ・通学路の安全は子どもたちの命を守る前提。学校・保護者・地域・警察・県が連携を密にしてより安全な通学路にしていくためにとってもよい関係が築かれている。
- ・通学路の点検では、日常的な点検を通して、タイムリーに情報をあげ、今後も対応していけるとよい。
- ・地域と連携しながら児童生徒の安全を見守って頂いていて、とてもよい。

- ・子ども110番登録内容で児童の帰宅時間に在宅かどうかの確認。子ども110番の家に限らず緊急時の対応の指導を図る。
- ・すぐメールの活用は、今後も有効に活用していきたい。
- ・給食の安心・安全を脅かす事例がいくつか報道されている。ここに示されていることだけでなく常に最善の手を打って安心・安全に努めてほしい。
- ・食物アレルギーへの取り組みでは、アレルギー対応がとてもきめ細やかに行われている。異物混入が少しあったが、その時の対応が迅速であった。
- ・学校給食センター運営委員会では、現場でも複数の目で確認しながら、慎重に対応しています。
- ・各園・小・中学校において、学期に1回以上の命を守る訓練の実施は、自ら危険を回避できる力の育成には十分力を注ぎたい。市内の小中学生の中には、道路の歩き方、横断の仕方でもまだ危険な姿を見かけることがある。こうした身近なところから危機回避力を培っていきたい。
- ・命を守る訓練の想定を工夫しながら、今後も進めていきます。地域や保護者の理解と協力が必要です。
- ・ネットトラブルについては、まず大人がネットに強くなる必要がある。大人がネットトラブルの深刻な現状に目を向け、わが子に指導するかたちを作っていかなければならない。
- ・チェックシートの活用をしっかりとしたい。

### 目標3 豊かな心と文化をはぐくむまちづくり

#### 重点(1) 未来を築く人づくり

##### 施策① 青少年の健全育成と国際感覚をはぐくむ教育の推進

- ・ジュニアリーダーの各地区等団体への参加が多くなり、これからももっと活動をしてほしい。団員の増加。
- ・連合PTA支援については、情報の共有をもっとしていきたい。
- ・ふれあいサマーフェスタは、とてもよい施策。ぜひ続けたい。
- ・実行委員会方式は厳粛な成人式となり、良いと思います。
- ・乳幼児期家庭教育学級について、三つ子の魂百までと言いますが、人間形成の大切な時期に幼稚園や専門機関との連携しながら子育て支援に当たりたい。
- ・家庭教育学級は、今後も家庭教育の重要性を学校、保護者、地域が大いに認識して取り組んでいく必要があります。
- ・市青少年育成市民会議総会は形骸化している。講演会の講師が3年間同じ人であったことも、参加する意義を感じない。会員の方々も忙しい中で集まっているので、地区ごとの会議と重ねるなど工夫して欲しい。
- ・少年の主張大会は、児童生徒たちは大変素晴らしい姿を見せてくれているので、もっと参加を呼びかけたい。審査結果については、本当に適正な結果になっているか検証し、審査員や審査方法を見直した方がよい。
- ・青少年育成推進の活動が、土日以外は難しい。
- ・根尾川水系愛掃活動は、地域の方と共にボランティア活動を行うことはとても意義があるが、期日や内容については各校区の実態があるので、無理に合わせる必要はない。
- ・綺麗になった川沿いを眺められる喜びを感じ取らせたい。
- ・ほほえみジュニア文化祭は、今後もっとメッセージカード等の記入など継続していきたい。
- ・ほほえみジュニア文化祭は、多くの市民が参観できるといい。

- ・ふれあい会議は、地域によって取組に差があり、参加率も様々である。自治会長会で活動例を紹介するなどして、公民館の指導性を発揮して欲しい。
- ・ふれあい会議に、市体協、指導員等の参加が少ないと思われる。
- ・あったかい言葉かけ運動事業は、今後も大切にしていきたいです。
- ・あったかい言葉かけ運動事業は、社会を明るくする運動で大切です。
- ・青少年国際交流事業は、参加希望者の学校間の偏りが多過ぎる。
- ・青少年海外派遣事業は、短期の研修ではなく、もっと時間がほしい。
- ・青少年海外派遣事業の研修成果発表に感動しています。派遣事業が、本巢市の力強い後継者作りとなる事を、期待しています。

## 重点(2) 人を育てるコミュニティづくり

### 施策① 生きがいと活力のあるまちづくりの推進と充実

- ・公民館講座・教室ガイドについて、塾へいっている人との差が多過ぎる。
- ・数学校研究会事業は、算数数学のまち・本巢市を内外にアピールするにはとてもよい企画。県内に広く参加を呼びかけていきたい。
- ・数学校研究会事業について、地元の歴史を小学校段階で知ることが大切だと思います。高木博士記念館設置時には、県道沿いに、アピール看板を設置して広報できるよいと思います。
- ・高木貞治博士の顕彰事業と共にさらに充実させていきたい。
- ・算数・数学甲子園は395人が参加し、他地区からも参加があると聞いていますが、算数・数学に対する関心を高めるうえで素晴らしい事と思います。
- ・公民館設備管理事業について、根尾公民館においては、空調設備改修工事の恩恵にあずかっています。
- ・生涯学習推進事業は、小学校への貸し出しも可能であり有難いです。
- ・地域コミュニティ支援事業は、「社会に開かれた教育課程」が心学習指導要領のキーワード。学力向上サポーター事業はしっかりと活動しておられるが、それを活用する学校側の機運を向上させていくことにも力を注ぎたい。  
学校経営者や各担任の地域の教育力を活用するためのマネジメント力が今求められている。
- ・地域コミュニティ支援事業は、小学校での学習にサポートしていただき大変有難いです。
- ・チャレンジクラブ支援事業について、子どもたちは大変楽しみしています。
- ・チャレンジクラブ支援事業は、ボランティア参加者の声かけが大変である。
- ・文化財に関する事業では、ボランティアの活動しやすい環境づくりにも力を入れていただきたい。
- ・安心・安全見守り事業は、児童の登下校の安全に本当にお世話になっています。
- ・安心・安全見守り事業は、地域のみなさんが児童生徒に声をかけて頂けるおかげで安全に登下校ができ、あいさつをする機会も増えている。
- ・安心・安全見守り事業について、地域の子どもは地域で守る、安心、安全で住みよい本巢市として見守りに協力します。
- ・人権教育は全領域で進める必要があるので、学校教育課との連携を密にして、研修会等も精選して頂きたい。
- ・人権教育パンフレット「心の輪」の発行とても素晴らしいと思う。この本の活用を一層図ってきたい。
- ・人権に関する標語の募集は、人権教育にご尽力され、大切な教育が出来たと思います。
- ・第二次子どもの読書活動推進計画の推進では、子どもの活字離れとても深刻。子どもたちがどの

程度本を読み、図書館を活用しているか、一度全市的な調査をしてみてはどうか。(既に調査されているのかもしれませんが)

## 施策② スポーツコミュニティづくりの推進と充実

- ・ 体育協会事業の支援と推進は、健康増進・団体の活性化・活動のマンネリ化防止等、加盟 21 団体への引き続き、指導、助言をお願いします。新規加入団体及び新規加入者の確保は、協会全体で取り生まれ、地区大会、県大会などの出場が出来る土台基盤として活躍を期待したい。
- ・ 市大会及び種目別大会は、活動団体の活動状況を、新聞、CCNet、広報等、市民に良く伝わる形で報告して頂く事で、活性化され、非常によい結果に、結び付いていると思います。
- ・ 地区及び県大会選手派遣について、3年後には、東京オリンピック、本巢市より選手派遣が出来る様、様々な取り組みで、盛り上げ、本巢市全体のスポーツのレベルアップが図れる事を期待します。
- ・ 本巢・北方・瑞穂駅伝は、近隣市町で協力し、広域的に学べる歴史ある大会。参加選手はもちろんチームメートとの絆、子供と保護者、保護者同志が、一本のタスキの力で、ひとつになれる駅伝競技。中・長距離選手発掘、育成の為に引き続き、お願いしたい。
- ・ 清流駅伝は、色々な方法で選手を選抜、計画的に練習に取り組み大会参加。チーム編成が小学生～一般成人と広範囲のなか、情報収集からクラブ練習に合わせたの取り組みに感謝します。県単位の清流大会に、小学校、中学校での出場がアスリートのスタート地点になり、今後につながる選手育成に期待します。
- ・ スポーツ少年団活動の支援と推進について、指導者の資質向上は大切な事、引き続き研修等続け、マンネリ化指導防止等、常に向上心を持って指導が出来る指導者育成を期待します。
- ・ 各単位団の活動支援では、スポーツの楽しさを学び、子供達の体力作りに、スポーツ少年団の位置づけは大きい。夏季、熱中症対策で学校、スポーツ施設など警告板が設置され 注意喚起がされ感謝している。
- ・ 全体事業の活動支援は、子ども会活動との調整が大変難しい。
- ・ 全体事業の活動支援は、保護者の理解協力で健全な団活動が出来る。そんな環境の中で子供達も楽しく活動が出来る。車の両輪の関係が保てるよう、引き続き、指導、支援を期待します。
- ・ 広域活動の支援は、スポーツ少年団でなければ経験できない、リーダーのあり方など、とても良い体験です。3市町合同と言う事で、情報交換もでき、今後に役立ててほしい。
- ・ 各団体の活動支援及び各事業の展開は、4地域それぞれ特色があり、地域住民がスポーツで団結し、笑顔が生まれる場所提供、子供の体力増進、健康寿命を伸ばす為にも市民で盛り上げれるよう引き続き支援をお願いします。
- ・ ソフトバレーボール大会も12回、特に真正地域の自治会参加も減少、連盟加盟チームが多くなり大会目標もほぼ達成できたと思われる。新たにカローリング大会を普及事業として、移行しても良いと思われる。
- ・ 淡墨桜浪漫ウォークはすっかり本巢の特色ある行事となっていて、今までの取り組みの積み上げの成果だと思う。マンネリ化しないようさらに磨きをかけていっていただきたい。
- ・ 淡墨桜浪漫ウォークについて、平成29年3月18日及び19日の2日間にわたり、一宮市の真清田神社から根尾淡墨公園までのウォーキング大会の成功は関係者の努力の賜物です。私は2日目に自宅裏の市文化財「長嶺の大杉」の説明などして遠くから歩いて来られる方を歓迎しています。狭い道の清掃、竹藪の整理も気を使いながら感謝しています。
- ・ 淡墨桜浪漫ウォークは、20回大きな事故もなく大会開催が続けられるのも、きめ細かい企画、運営面での取り組みのお骨折りがあり感謝している。

全国規模になり、安全面第一で、ますます充実した魅力あふれる大会になる事を願います。

- ・第4回もとす遊 RUN2016、これも参加者増で過疎化する地域として感謝です。
- ・もとす遊 RUN は、参加者も年々増加し、定着しつつある。スタートの場所、子供、大人のスタート方法、坂道利用の多いコースの為、より安全で楽しんで頂き、スピードを争うものでなく、根尾の晩秋を十分味わえる大会になると良い。
- ・軽スポーツカーニバルについて、参加者は年々増加、特に普段スポーツ参加の難しいファミリー層が多く、小さい子を中心に軽スポーツ楽しんで頂く、ほたる祭りと同時開催で非常に盛り上がる。
- ・F C 岐阜支援は、サッカー関係者に限らず、広く市民で F C 岐阜の応援が出来る様、株主として、もっともっとPRをし、地域から盛り上げて応援出来る様、C C N e t などで試合日、試合状況等、周知宣伝が必要と思われる。
- ・自治会及び子ども会の活動支援は、カローリング競技の普及をスポーツ推進員が中心になり、自治会三世代、子供会、サロン、チャレンジ等、多方面にわたり活用の働きかけをしている。
- ・周知及び窓口支援について、各種大会の参加者募集は大変ですが、引き続き色々な方法で周知参加呼びかけをお願いします。
- ・スポーツ推進委員の育成について、研修会には積極的に参加、生涯スポーツ全般の活性化、マンネリ化防止に務める。初級障がい者スポーツ指導員習得委員を中心に、障がい者スポーツの実技研修等、活動の幅を広める。スポーツクラブとの連携を密にし、体験しながら、広く市民にスポーツを楽しんで頂ける情報提供も行う。
- ・月例会では、各部会（企画、事業、普及）より良いプログラム提供をする為、連携を密にして取り組んでいる。企画部会では、年2回広報もとす発行の” スポ推ニュース” にも取り組み、スポ推の活動状況、研修報告等の編集を行う。
- ・事業支援は、本巣市の健康寿命が延び、市民の健康増進、健康管理、幅広い年齢層に提供出来るように取り組みながら、生涯スポーツ振興を図り、健康で笑顔が生まれる街づくりに務める。部会開催のカローリング大会も、事業として取り組むように検討中。（月2回カローリング教室開催中）
- ・スポーツ推進委員の計画的・継続的な研修の実施は、各種研修会に参加する事により、スポーツ推委員の資質向上に努め、全員が同じレベルで活動が出来る様、周知報告をしながら、自己研鑽に務める。岐阜地区でも、リーダー的立場に置かれることが多く、全員の意識改革が進んでいる。
- ・研修会の実施は、スポーツクラブと密接に連絡調整が出来るように、講師による体験講習会を実施、今後の協力体制が出来る。各事業前には、関係部会が研修会を開き再度、確認徹底をするようにしている。特にカローリング普及については教室などで全員で取り組む。
- ・研修機会の提供は、スポーツ推進委員の役割である、地域、各種団体の連絡調整を達成する為にも、交流研修会等も良いかと思われる。
- ・育成研修会の実施は、生涯スポーツに理解をもち、地域貢献をして頂く人材発掘、育成は継続的に情報提供を求めながら、引き続き必要な研修です。
- ・情報の収集及び発信について、今後も住民に情報発信していきたいです。
- ・色々な方法で、情報提供することにより、理解、協力、関心を得られ、すべての面で活性化が図られる。今後も期待します。
- ・全市的な事業展開について、講座も、活動域が広がり、全市展開に近づいている。全戸回覧の会員募集、イベントチラシ等PR活動も出来ている。スポーツ推進委員もクラブ体験をし、全員がトレーニングマシンの受講者証を習得、体験をしながら会員募集イベント運営に携わる。
- ・各種講座の実施は、受講者が受講しやすい時間帯の把握、受講者のクラブに求めているのは何か

等、魅力あるクラブ育成、市民が一番近くで、生涯スポーツに触れるクラブとして、さらに充実したクラブになることを期待する。

- ・ 体育施設の維持管理について、各施設の老朽化が多い中、維持管理面で難題が多く、手を加えることによりまだまだ利用できます。引き続きの取り組みをお願いします。
- ・ 利用者の安心、安全を最優先でお願いしたい。熱中症注意喚起看板は非常にありがたい。

### 重点(3) 伝統文化を受け継ぐふるさとづくり

#### 施策① 郷土の歴史、文化の伝統及び芸術・文化の推進と充実

- ・ 文化ホール自主事業の充実について、大いに期待しています。
- ・ 文化ホール自主事業の充実は大切です。しかし年間を通じての集客は大変です。三遊亭歌武蔵・風間杜夫の二人会落語は、直前に敬老会行事で4地区を回った後だったので老人客が減少したものと思います。横の連絡が必要だと感じました。
- ・ 主要設備改修計画の策定について、地震断層観察館内の諸設備はいずれも貴重な資料ですので常に整備されていることは重要です。
- ・ 本巢市の文化財保護については、長期・中期・短期の目標値を決め、計画的に活動を推進していくことも必要。
- ・ 県道沿いに、アピール看板を設置して広報できるよいと思います。
- ・ 本巢市の文化財、特に埋蔵文化財は次々発掘調査が進み成果をあげていますので大変ですが、文化財保護審議会とも協調して専門性をより一層高めて下さい。
- ・ 船来山古墳群は本巢市の「宝」。早く国指定に結びつけ、史跡公園としてオープンし、本巢の「よさ」を市民や県民に理解してもらえるようにしたい。
- ・ とても重要な活動。記録したものが活用できるようなシステムも構築してほしい。
- ・ 歴史探訪セミナーなど、本当によく活動している。参加者の多さは活動の魅力を物語っている。
- ・ 美術展の開催は、とてもよい企画。市内ばかりでなく市外からの出品も多く、美術展の質を高めている。

#### 目標4 安心して学ぶことができる教育を支えるための環境づくり

### 重点(1) 子どもの居場所づくり

#### 施策① 安心して学べる学校の創造

- ・ 教育相談員の資質向上のための研修、ぜひ続けてほしい。
  - ・ 教育相談員研修の実施は教職経験のない支援員もいるので、さらに研修を充実させて頂きたい。
  - ・ 生徒指導対策事業の実施は、気になる児童生徒の言動など情報の共有をどう図るかが本当に大事だと思います。
  - ・ 学級満足度調査の効果的な活用が大切。いじめの早期発見に活かしたい。
  - ・ 学級満足度調査の実施は、大変有効で、分析を通じて指導に活用しています。
  - ・ 生徒指導等事例検討会の実施について、この問題は大変重要で難しいが早期発見、早期対応で頑張ってください。
  - ・ 「いじめ防止基本方針」の運用について、家庭・地域も一体となっていじめのない学校実現に尽力できるような体制を築いてほしい。
- そのためには、教職員、保護者、地域の人たちが問題意識を強く持ち共有し合うことが大切。
- ・ 「いじめ不登校対策会議」では、今後も確実に見届けをしていきたいです。

- ・遊具及び体育施設点検の実施について、児童生徒の安全第一です。
- ・不良箇所点検は案外見逃す事があります。専門業者の委託点検は危険防止に有効です。

## 施策② 個に応じた学習支援、教育相談の充実

- ・ライブ中継システムを活用した合同授業の実施について、ライブで交流した後は、機会を見つけて対面交流もできるようにし、根尾小、外山小の子どもたちが密に交流できる機会を増やしてやりたい。
- ・ライブ中継システムを活用した合同授業の実施は子どもたちや学校でも評判がよかったと聞いています。しかし平成 28 年度で文科省の委託事業の実証指定がきれ、これで終わりという説明がありました。良い制度であれば独自制度として続けてほしいと思います。
- ・学校支援員の配置に本巢市は力を入れていて心強い。さらにボランティアで協力してもらえる地域の人たちも参画できるような仕組みを充実させてはどうだろうか。
- ・小学校非常勤教育講師の継続配置をよろしくお願ひしたいです。
- ・学習支援員制度は、僻地小規模校には大変有りがたい制度だと思います。
- ・中学校非常勤教育講師配置事業について、学校の実態に応じて学習支援員が配置され、教員と連携してきめ細やかな指導を行うことができた。

## 施策③ 特別支援教育体制の充実

- ・支援チームの計画的巡回訪問の実施について、具体的な指導と見通しを示していただき大変ありがたいです。
- ・特別支援コーディネーターの資質を上げ、コーディネーターとしての機能を充実させていくことが大切。研修の方法も工夫して成果を上げたい。

## 重点(2) 地域による教育支援体制づくり

### 施策① 学校施設・設備、備品の整備・充実

- ・小学校小規模改修事業について、今後ともご配慮をお願いしたいです。

### 施策② 社会の変化に対応した教育環境の整備

- ・根尾、外山地域活性化検討会議の開催について、学校があるからこそその地域は存在できる。学校が廃校になり地域も荒廃した事例はたくさんある。したがって、学校を充実させることが何より大切。
- ・根尾小中を一つにして新たな校舎を造り、「根尾学園」として義務教育学校化するのも一方法。
- ・放課後児童健全育成事業の実施について、子どもたちは楽しみにしています。
- ・学力向上サポート事業説明会は、大いに活用していきたいです。草刈り作業で大変助かっています。